

JESSで 相次ぐ組織拡大!

12月1日 新川崎駅

12月22日 鹿島田駅

神奈川県本部・武蔵小杉駅分会で加入歓迎会



(組合員の購読料は
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 大沼 元
編集責任者 樋口孝重

No. 801 定価 20円

2018年

1月31日

仲間の信頼
力に変えて
さあ踏み出そう
組織の拡大へ



QRコードから
でも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>



神奈川県本部では昨年12月、JR東日本ステーションサービス（以下JESS）で相次いで2名の組織拡大がありました。また、JESSから1月15日に提案を受けた「新人事・賃金制度」について国労東日本本部として学習交流会を開催するなど、グループ会社における組織化や、労働条件改善に向けた取り組みも重要な課題となっております。

今号は、①神奈川県本部・武蔵小杉駅分会国労加入歓迎会、②JESS学習交流会、③東日本本部教宣部長会議、④東日本電気協議会第30回定期委員会の報告とします。

1月16日、神奈川県本部・武蔵小杉駅分会で国労加入歓迎会が行われました。

昨年12月1日に新川崎駅で白濱義崇さん（32歳）が国労に加入。続いて12月22日に鹿島田駅で竹内康裕さん（28歳）が加入しました。新川崎駅と鹿島田駅はいずれもJESSに業務委託されている職場です。

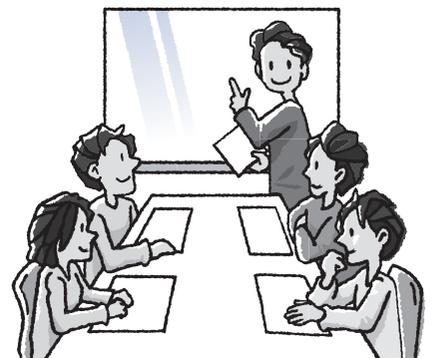
JESSでは同じ仕事をしているにも関わらず、まだまだJR東日本本体と比べて賃金が低く設定され、乗車証すらない、都市手当や特勤手当などの諸手当もない、という労働条件に差がある状況です。

加入した二人からは、

「国労という組合でもっと労働組合のことも勉強したいと思って加入しました」「前に勤めていた会社では労働組合に入るのは当然のことでしたし、国労の先輩の人たちに仕事も教えてもらい、親切にしてくださいました。『国労』について悪い評判も聞いていましたが、接する中でそんなことはないとわかったので、加入することにしました」と経緯が述べられ、更なる拡大に向けた決意を固めつつ、全体で懇親を深めました。

(神奈川県本部発)

東日本本部 JESS学習 交流会 1月22日 開催!



国労東日本本部は、1月22日、首都圏で大雪警報が出ている中、新橋において、JESS学習交流会を開催しました。

今回の学習交流会は、1月15日にJESSから「新人事・賃金制度の改正について」が提案されたことを受け、その内容に対する情報共有と要求作成も含めて行いました。JESSは現在「定期昇給が5年に1回」というJRと比べて劣悪な労働条件で、昨年は初めてベアが実施されるものの、未だ賃金改善を求める社員の声は強く、この間、国労としても労働条件改善を求めて来た中で今回の提案と言えま

委員長はあいさつで「今後の会社施策として、駅の合理化による業務委託が拡大していく。JESSで働く皆さんの労働条件を改善するために東日本本部として頑張りたい。今回の学習会の中で出してもらった意見を要求の叩き台としてまとめ、今後の交渉に臨んでいきたい」と決意を述べました。

続いて伊藤書記長から、今回提案された「新人事・賃金制度」のポイントとして、①等級毎に役割を明確化、②全ての社員を等級毎に区分し、基本給範囲を設定、③定期昇給の実施、④中途採用者に対して考慮した賃金設定などの人事制度の概要について説明が行われました。

学習会は本間執行委員の司会ではじまり、大沼

質疑の中では、「新たな等級制度での役割の不明確さや、管理者個人の見解で査定されるのはどうなのか、明確な基準が必要」「キャリアアップと各種研修や勉強会への参加の位置づけは?」「乗車証・都市手当・繁忙期の手当拡充については全てのJESS職場の問題である。同一労働同一賃金の問題等、原点に帰って交渉を」といった意見が出されました。

最後に東日本本部からは「今春闘を含め、引き続き労働条件の改善に向け、出された意見を採り入れながら取り組んでいきたい。今回の提案については、我々が求めていた定期昇給など前向きに受け止める部分もあるが、人事考課が色濃く反映されるなど危惧する部分もあり、要求で説明をしていきたい。会社はすぐにでも交渉したい考えなので、JESS社員が交渉に入れるように準備をしてもらいたい」とまとめ、JESS学習交流会を終了しました。



○5月に開催する東日本
た機関紙活動について、
発行。機関紙表彰といっ
る「ダイジェスト版」の
「国労東日本」の定期発
行や、情報を迅速化す
会議は渡辺執行委員の
司会で始まり、東日本本
部教宣部の取り組みとし
て樋口教宣部長から、○
「国労東日本」の定期発
行や、情報を迅速化す
る「ダイジェスト版」の
発行。機関紙表彰といっ
た機関紙活動について、
○5月に開催する東日本

東日本本部 12月2日 教宣部長 会議開催!

本部軟式野球大会（隔年
開催）の準備や、ゴルフ
大会・マラソン大会と
いったレク活動の報告に
ついて、○HPを活用し
た情報伝達と内容の充実
に向けた報告がされまし
た。

国労東日本本部は、12
月2日、東日本本部会議
室において教宣部長会議
を開催しました。
会議は渡辺執行委員の
司会で始まり、東日本本
部教宣部の取り組みとし
て樋口教宣部長から、○
「国労東日本」の定期発
行や、情報を迅速化す
る「ダイジェスト版」の
発行。機関紙表彰といっ
た機関紙活動について、
○5月に開催する東日本

電気協議会 第30回 定期委員会 11月25日を開催!



東日本電気協議会は11
月25日、東京地本会議室
において第30回定期委員
会を開催しました。委員
9名、役員15名と、東
日本本部から矢部副委員
長と樋口執行委員が出席
し、岸副議長の司会で開
会しました。

各地方本部からは「定
期的な機関誌の発行と、
適宜速報を発行してい
る。少しでも早く組合員
の手に届けるために苦労
している」「運動会を開
催し、家族・共闘・出向
者・プロパーに参加して
もらい400名が参加し
ている」「団結まつりを
開催。共闘の仲間を含め
て170名が結集してい
る」「機関紙や指示など
の配布が財政的な負担に
なっている。年賀状を
ファックスにするなど経
費節減に努力している」
「労働者教育をどうして
いくのか考えている」な
ど、それぞれの地方にお
ける取り組みと課題につ
いて報告がされました。

最後に樋口教宣部長か
ら、「各地方本部から成
果や課題が報告された。
国労の運動を組合員に向
けて迅速に伝えること、
レクリエーションを通じ
て組合員の親睦と団結を
図ること、宣伝と行動を
通じて国労加入を訴える
など、あらためて教宣活
動の重要性を感じた。労
働者教育を今後どうして
いくのかといった課題も
出された。情報を共有化
して、各地方本部と東日
本本部が力を合わせて教
宣活動を強化していき
たい」とまとめて会議を閉
会しました。

答。②組織拡大は最重要
課題と各地方でも努力し
ている。年配者にも声を
掛けて行きたい。③エル
ダー制度で労働条件の一
部変更が提案されてい
る。4月からの運用なの
で課題がある。④安全問
題で電気の事故が多いが

議長には八王子地区電
協の岡部委員が就任し
「年2回の学習会や出向
者交流会、レクを開催し
ている。出向者交流会で
は職場状況を聞きながら
交流をし、問題があれば
八王子地区本部から支社
に申入れを行う。今年の
レクは他労組の若手も参
加して大盛況だったが、
なかなか組織拡大には繋
がらず苦戦している。エ
ルダー雇用では再就職先
の提示が1社のみで希望
も叶わないなどの実態が
あり、1〜2年で辞めて
しまう人もいる。安心し
て働ける制度にしたい」
と職場報告を兼ねた挨拶
がありました。

矢部副委員長からは
「①年末手当確保の取組
みは昨年以上の還元を求
めてきたが昨年並みの回

え、現行の次の合理化で
取組みが問われる。各職
場からの意見をまとめた
ながら改善を求める。組
織拡大については各地方
からの取組みに学び、全
体の声に反映させ、運動
の前進を図って行きたい」
と挨拶をしました。

その後、各地方の委員
からの報告を受け、最後
に高橋議長が「各委員か
ら出された意見について
は申21号の交渉の中でも
やり取りをしてきた。標
準数の関係は今回の交渉
でも新採を標準数に入れ
ないよう言ってきたが、
そもそも退職者に対して
新採が少なく、
要員不足が進
んでいる。ま
た若手が研修
で居ないこと
が超勤増につ
ながり、盛岡
では労基署が
入るなど、多
くの箇所です
超勤管理が問
題になっている。
エルダー制度
については要
望に沿った制

度、今後の合理化で
日本本部にお願いした
い。技術継承についても、
現場の経験をしないまま
管理者になり、本社に物
を言える人がいない。国
労として、経験のある国
鉄採用者が日頃から伝え
て行く事が必要。今後情
報共有を積極的に行つて
いき、地方での交渉につ
いても共有化を図って行
きたい。今後エリア電協
として東日本本部と連携
を取りながら申を出し
て、交渉を前向きに行つ
ていきたい」と集約して
閉会しました。

アフラック
最新のがん保険、
新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
NEW/
新生きるための
がん保険 Days

女性特有の
がんにも
手厚い
NEW/
新生きるための
がん保険 Days



はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

(引受保険会社)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日

(電気協議会発表)